茨城県社会福祉士会 NEWS

NO.54
発　行　一般社団法人 茨城県社会福祉士会
Ibaraki Association of certified Social Workers
発行日　平成２８年３月２５日<2016.3.25>
編　集　広報事業部
事務局　〒３１０－０８５１
茨城県水戸市千波町１９１８
茨城県総合福祉会館内
Tel：０２９－２４４－９０３０
Fax：０２９－２４４－９０５２
ホームページ　http://www.csw-iba.org/
Eメール　csw-iba@csw-iba.org

第２回 社会福祉士共通基盤研修を開催しました！ in　茨城県総合福祉会館

３月５日は第２回社会福祉士共通基盤研修を開催しました。今回は日本社会福祉士会が生涯にわたり研鑽を重ねていくべき共通の研修課題として設定している６領域の中から『実践研究』を取り上げました。テーマは『演習から学ぶソーシャルワークのプロセスとは「そもそも論」に立ち返ってみよう』。当会の竹之内会長が講師を務め、講義とロールプレイ・グループワークを行いました。研修会の後には懇親会も開催し、和気藹々と盛り上がり会員同士の交流がまた深まりました。

目次、第２回 社会福祉士共通基盤研修を開催しました…1
「2015年度 第２回 社会福祉士共通基盤研修」に参加して、新規入会会員大募集中…2
「福祉関係者のための法律講座」を受講して感じたこと、第28回社会福祉士国家試験結果…3
「シェアの場 in 茨城 ～思いや夢を共に語り合う～」に参加して、Facebookページのご案内…4
「会員の声」、2016年度茨城県社会福祉士会定時総会のお知らせ…5
ブロック活動報告…8～12
（県央ブロック、県南ブロック、県西ブロック、鹿行ブロック、県北ブロック）
編集後記・・・12

「２０１５年度第２回社会福祉士共通基盤研修」に参加して

県西ブロック　　秋山　貴宏

３月５日（土）に「２０１５年度第２回社会福祉士共通基盤研修」が茨城県総合福祉会館にて開催され、今回は「実践研究」をテーマに講義及び演習が行われました。

午前の部では、当会の竹之内会長が「演習から学ぶソーシャルワークのプロセスとは！そもそも論に立ち返ってみよう！！」という題目で講義が行われました。今回の研修では、インテーク・アセスメント面接において、「どのようにして人と人が出会っていくのか？」と考えていく中で、社会福祉士の役割や倫理観を改めて学ぶ機会になりました。

「このサービスがあるから、この人にはこのサービスを提供すればいい」というように、ニーズ主導ではなく、サービス主導のプランになっていることが多いと感じると話がありました。また、「本当に、この人が望んでいることは、なんだろうか？」、「今、困っていることはなんだろうか？」「こうありたいと願うことはなんだろうか？」自分たちが実際の現場の中で、どのように具現化していくかという筋道がゆらいできていないかと最近感じることがあるとも話がありました。私自身、日頃の業務において、利用者の方との関わり方を再確認するいい機会になりました。

午後の部では、５グループに分かれ、問題を抱えていると思われる磯野家の事例に対し、地域包括支援センター職員が訪問時に、どのようなインテーク・アセスメント面接を行うとよいか留意点について話し合いました。実際に、各グループ代表が地域包括職員となり、フネ役（竹之内会長）と面接を行いました。フネさんの演技の上手さに圧倒されました。また、インテーク面接では、どのように話を切り出したらよいのかグループごとに作戦会議を開き、面接に臨みましたが、フネさんとの信頼関係が出来ていない部分もあるので、フネさんの本心を聴くことにとても苦労しました。主訴がないクライエントに対し、今回の訪問の理由を理解していただき、自己覚知のきっかけになるように支援を検討しました。

アセスメント面接では、家族関係や収入面等、他人に教えたくない部分もあり、信頼関係がきちんと構築できていないため、とても苦労した面もありました。また、磯野家において、どのようなチームメンバーで関わりを持ち、きちんとチームで動いて仕事をしているのか考える機会にもなりました。チームで動くには、チームのメンバーが同じ意識を持って、それぞれが役割意識を持ってチーム形作っていかなくてはいけないと思いまいた。

社会福祉士には、コーディネーター的な役割も求められてきており、今回学んだことを、日頃の業務においても活かしていきたいと感じました。

★新規入会会員大募集中です★

職場やご友人に社会福祉士の資格をお持ちでまだ社会福祉士会に入会されていない方はいらっしゃいませんか？また、新たに社会福祉士国家試験に合格した方はいらっしゃいませんか？もし身近にそんな方がおりましたら、ぜひぜひ社会福祉士会への入会のお声かけをお願いいたします。

資格取得はスタートラインです。様々な研修に参加したり、懇親会でネットワークを広げたり、社会福祉士会で更に自分を磨いて行きましょう！相談できる仲間が増えるとお仕事をする上でもとっても心強いですよ♪

茨城県社会福祉士会事務局にも入会申込書を準備しております。お電話を頂くか、ホームページ（http://www.csw-iba.org/）にある入会申込書請求フォームから入会に必要な書類を請求できますので、大いにご活用くださいね。

「福祉関係者のための法律講座」
●〇貧困を背景とした多問題の解決について〇● を受講して感じたこと

県央ブロック　　金川　慶子

平成28年1月16日に県央ブロック主催による「福祉関係者のための法律講座」が開かれました。社会福祉の業務に携わらせて頂いていている私にとって、法律はわからない部分も多くあり、その都度調べるということも多くあります。今回は法テラス茨城法律事務所の立花先生がお話しいただけるということで普段関わらない部分も多く勉強できればと思い、参加させて頂きました。他業種の専門の方のお話は貴重な機会でもあるということで、参加人数も質問の数もとても多く、他の方々のこの研修に対する強い意気込みも感じました。

タイトルは「貧困を背景とした多問題の解決について」というもので、債務整理の問題、住まいの問題、虐待の問題、男女の問題とさまざまな問題について、わかりやすい事例を出していただきながらそれぞれのケースについての問題点や法律でどう守れるかという対応を伺いました。ひとくちに貧困の問題といっても、貧困の裏には様々な問題が隠されていることが多いのを学びました。貧困だからいろいろな問題を抱えているわけではなく、さまざまな問題があった上に貧困という問題も抱えてしまったため大きな問題になり、支援が必要となっていることもあると勉強になりました。

なかなか「法律」について詳しく勉強する機会のない私にとって、今回の先生の講義は難しいと思っていた「法律」を身近にとらえるきっかけにもなりました。難しいからと敬遠しがちな問題もより掘り下げることによってもっと抱えている問題、本質に近づけることも多いと感じました。

業務にかかわっていると、さまざまな問題と出会うこともあります。でもそれは一つだけの問題ではなくて、その裏に多くの問題を抱えていることもあるということ、それを見抜く眼も必要であるのだと感じました。困っている問題は一つだけとは限らないからこそそのケースに合わせて福祉だけでなく、法律や医療、教育といった様々な分野とも連携していかなくてはいけないのだと感じ、利用されている方だけではなく、いろいろな「人とのつながり」が大切なことも強く感じました。

第28回社会福祉士国家試験結果

受験者数：44,764名

合格者数：11,735名

合格率：26.2%

茨城県の合格者数：195名

3月15日（火）に合格発表があり茨城県でも１９５名の方が合格しました＼(^o^)／
社会福祉士に合格した方に出会ったらおめでとう！とともに、社会福祉士会で一緒に活動しよう、仲間とつながろうとお誘いくださいね♪

シェアの場 in 茨城 ～思いや夢を共に語り合う～ に参加して

株式会社オーバースロー　　小圷　成雄

2 月 27 日、茨城県福祉会館大研修室にて開催された、「シェアの場　in　茨城　～思いや夢を共に語り合う～」に参加して参りました。会場には、当事者の方、ご家族、支援スタッフと様々な方々が参加されていました。

講師の多田公樹さんは当事者であり、支援スタッフでもあるという、二つの立場から、ご自身のこれまでの歩みを交えて、丁寧にお話しされていました。特に、精神疾患からのリカバーの部分は、きちんとご自身の言葉で、体験を踏まえて話されていて、大変聴きやすく感じました。

私は支援スタッフですが、多田さんの話から、当事者の方々の考え方、物事の捉え方を改めて学ぶことが出来ました。また、目標工賃達成指導員として、当事者の方々の工賃をアップさせることを、夢ではなく、叶えるべき目標として冷静に考えておられることも、同じ支援スタッフとして、とても刺激になった気がします。

講演後の質疑応答も、活発でした。

その後は、グループに分かれて、大事にしていること、考えていることを、グループに参加した方々が、それぞれの立場から語り会いました。様々な立場の方々が、それぞれの見地から意見を述べ合い、考えが混じり合い、化学変化をしていく様は、正に、「シェアの場」だったと思います。時間が足りない、もっともっと話し合いたいという雰囲気が、終了後も漂っておりました。とても良い感じだったので、個人的には、もっと多くの方が参加するイベントであればいいのに、と素直に思いました。

また次回参加するのが楽しみです。企画運営をされた、事務局の方々、ありがとうございました。

茨城県社会福祉士会のFacebookページもよろしくお願いします！

https://www.facebook.com/csw.ibaraki

各種お知らせや研修会の様子等を発信しています。

皆さまぜひ「いいね！」やフォローをお願いいたします m(_)m

※「いいね！」などのご参加を頂くには Facebook への登録（無料）が必要となります。

※ Facebook に登録しなくても閲覧は可能です。

～会員の声～

県央ブロック　横須賀　優

今から４～５年程前の話です。担当しているＡさんは確か 90 歳を超え、下肢筋力の低下があり歩行器を使用していました。車いすで生活されている奥様と二人暮らしで、私が勤めている事業所に通所したり、短期入所を利用して二人で泊まったりしていました。自身も高齢であり又奥様も介護が必要な状態であり、二人きりで在宅生活するのはＡさん自身も相当に大変な状況でした。

Ａさんは大変笑顔が印象的でした。暗い表情は一切見せず、職員にも利用者の方にも常に笑顔。一緒にいるだけで私達の心が清らかになるような笑顔を持っている方でした。

ある夜、終業後一人残って事務所で仕事をしていた時。気が付くＡさんが事務所の外から見ていました。

「いつも遅くまでご苦労様。疲れているみたいだから体を壊さないようにいたわって仕事をしてね」と声をかけてくれました。私はその言葉に嬉しくなってＡさんに返事しました。

「Ａさん声かけてくれてありがとう。Ａさんはいつも笑顔で誰とでも接することが出来て感心します。でも疲れている時とか、つらい時、怒りたい時はありませんか？」

今考えるとちょっと失礼な私の質問。でもＡさんは真摯に答えてくれました。

「そういう時もあるけれど、物事が上手くいかない時笑顔でいると自然とうまく解決するものだよ。笑顔でいると孫もよってくるしね。笑顔で過ごすことは幸せに生きるコツだよ。」と優しく笑顔で教えてくださいました。

Ａさんからその話を聞いたとき、私はハッとしました。自分はつらい時や苦しい時、どんな表情をしてその事象に向き合っているのか。きっとＡさんが声かけてくれた時も、疲れている表情が表れてしまっていたのではないかな、と。

家庭や仕事で悩んだ時、困った時Ａさんの言葉は今も自分への生きた教訓として思い出すようにしています。そうすると不思議なもので、受け止める自分の心が軽くなり余裕がでて来ます。

なかなかＡさん程の心境にまではたどり着きませんが、いつかたどり着きたい私の目標の一つになっています。

ニュースや新聞を見ると、「福祉の仕事は・・・」とネガティブな事柄に焦点を当てられた記事や、「介護職員が・・・」といったセンセーショナルな事件の記事が毎日のように流れてきます。そういった記事を見ると、福祉に関っている者として悲しい気持ちになるし、これから新たに夢を持って福祉の職場に飛び込もうという方がその記事を見てどのように感じるのかなと考えてしまいます。

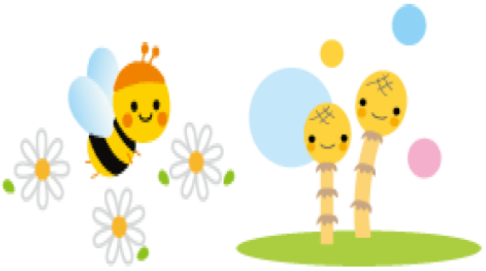
でもけっしてそんなことばかりではないはずです。

「福祉の仕事」を通して、人生の指針になるような大事ことに気づくことがあり、それは何にも代えがたい「福祉の仕事の魅力」の一つではないか、私はそう思います。

2016 年度茨城県社会福祉士会定時総会を 5 月 29 日(日)に開催いたします。

時間等の詳細は後日、定時総会資料とともに郵送にてお知らせいたします。
皆さまご予定の調整をよろしくお願いいたします。

県央ブロックだより



こんにちは。春の便りがあちらこちらからきていますが皆さまいかがお過ごしでしょうか。
秋からの活動を振り返りますと①勉強会、②研修会といくつか学ぶ機会を設けてみました。
これからも会員の皆様からの要望に応えられるような研修を企画しますので、どうぞお楽しみに！
また、懇親会も定期的に行っており親睦の場になっています。ぜひ酒宴でもお会いしましょう！！

① 勉強会

「福祉関係者のための法律講座」
～貧困を背景とした多問題の解決について～

１月１６日に法テラス茨城法律事務所におられる弁護士の立花　朋氏をお迎えして勉強会を開催しました。

複数回の打ち合わせを行い、普段の利用者支援の際に困ってしまったことや法テラスで解決に導いた事例をもとに

① 債務整理の問題
② 住まいの問題
③ 虐待の問題
④ 男女の問題
⑤ 法テラスのご紹介

という構成で３時間の勉強会を行いました。

立花先生のわかりやすい説明に時間いっぱいまで活発な質疑応答がなされました。

他の専門職との協働で解決していくケースはこれから増えていくものと思われますのでぜひご参加下さい。平成28年度もまた開催します！！

②研修会

思いや夢を共に語り合おう♪
「シェアの場ｉｎ茨城」

２月２７日は、社会福祉法人ゆっこらで就労継続支援Ｂ型花農場、目標工賃達成指導員としてご活躍されている社会福祉士の多田公樹氏にお越しいただきました。

病気を抱えてご苦労をされたこと、回復を信じて歩んでこられたこと、そして今支援者として当事者であるというジレンマに悩まれていることなどを語っていただきました。

将来は精神に疾患を持っていても生きがいを持って働ける場を作りたい、またその場所での活動が地域の人に喜ばれるものでありたいという夢に向かって日々仲間の支援に取り組んでおられます。

参加者52名のうち、当事者やご家族も２０数名お越しになりグループワークで夢や希望について語り合いました。

「この活動を続けて下さい！」という当事者の方々の思いを実現すべく、これからも継続して取り組んで参ります(‘ω’)ノ

✿懇親会のお知らせ✿

■４月９日（土）１８：００～
■益益　水戸内原店
■０２９（２５９）３５６７
■会費３５００円　２時間飲み放題
■４月７日迄にお申しこみ下さい

県南ブロック活動報告

ホームページ ⇨ http://ibanancsw.hp2.jp

今年度も残りわずかとなりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？前号の広報誌を発行してからも県南ブロックでは研修会や交流会など開催してまいりました。来年度も定例会議や懇親会、研修会を計画中ですので、皆さんぜひぜひご参加くださいね！初めての方も大歓迎‼新しい仲間と出会えることを楽しみにしています♡

研修会「福祉経営」とは何か？を開催しました！

2 月 20 日は古河市役所福祉総務課課長補佐であり、茨城県社会福祉士会会員でもある池澤健嗣氏をお招きし、「福祉経営」とは何か？－社会福祉士として「福祉経営」を学ぶ意義を考える―と題して研修会を開催しました。

福祉の事業所であっても経営者が福祉の専門家でない場合は少なくなく、現場で働く従業員は経営に関して疎いことも多い。サービスへの需要が増大する一方で働く人材の確保が難しい現状、福祉業界を志す人が減少している中で働き手を確保するためには入職した従業員のモチベーションを保ち離職を防ぐ必要がある。意欲を持ち続けられるようにするのは、経営者と従業員が同じ方向を向いていないと難しい。福祉業界の特殊性を踏まえた上で経営を学んでいくことは私たちにとっても大切なことだと感じました。

こころみ学園収穫祭♪

11 月 14 日は栃木県足利市のこころみ学園（ココ・ファーム・ワイナリー）の収穫祭に行ってきました。

マイクロバス 1 台を貸し切って出発！嬉しいことに初参加の方もおり、自己紹介をしつつ会場向かいました。葡萄畑の斜面に場所を取りワインや葡萄ジュースで乾杯♪特にここでしか飲めないできたてワインは絶品☆屋台で購入した美味しいソーセージなどに舌鼓を打ちつつ、弾むお喋り。生憎の雨模様となってしまいましたが、会員間の交流が広がる楽しい時間になりました。

ころみ学園について知りたい方はこちら

⇩

http://www.cocowine.com/

学び合いの時間を開催しています！

12 月 19 日に開催した第 4 回目はつくばみらい市社会福祉協議会の伊藤会員に講師を担当して頂きました。テーマは「地域包括支援センターと社協との連携・取り組みについて」。地域の課題、役割、取り組みなどお話頂きました。参加者にとっても関心深い内容だった様で、質疑応答も弾んでおりました。

学び合いの時間は 2016 年度も継続していく予定です。

★今後のブロック会議予定★

4 月 16 日（土）18 時～

学び合いの時間はみのるの郷 有坂会員が担当する予定です。お楽しみに！

詳細は県南ブロックホームページで☺

けんせいつうしん

県西ブロックの皆さん、こんにちは。重度の花粉症の私にとっては辛い季節ですが、いかがお過ごしでしょうか？
もうすぐ４月。新しい生活がスタートしますね。皆さんの周りで、社会福祉士試験に合格した方はいませんか？是非、県士会への入会をお勧めしましょう♪

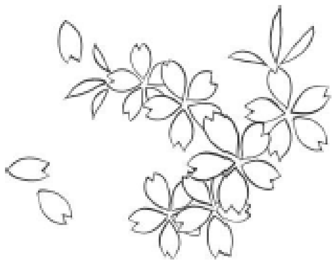
リレートーク３

皆様こんにちは。
古河市にある、友愛記念病院のソーシャルワーカーをしている生沼正信です。
現在の病院に勤務し始めたのは約２ヵ月前。最近、常々感じることは、これまで築き上げてきたものが今の自分に活かされているということです。
そもそも私は変わった経歴の持ち主ではないかと感じております。学生時代は工業を学び、アルバイトで接客の魅力に触れて、新卒で就職をした先がメガネ店、そこで個人（当時はお客さん）との繋がりを強く感じながら仕事をしたいと思うようになり社会福祉士を目指すこととなりました。
社会福祉士の資格を取得したのは約６年前。当時は特別養護老人ホームの生活相談員として勤務し、その後は同法人の介護老人保健施設の支援相談員や居宅介護支援事業所の介護支援専門員の経験をさせていただきました。その中では前職よりも個人との繋がりを強く感じることは多く体験できましたが、深く関わることにより個人やその背景にある課題に対応ができない自分の無力さに直面することの連続でもありました。悩んで周りが見えなくなりそうなときには、上司からの言葉「ソーシャルワーカーは権利擁護の専門職」ということを思い出して立て直しを図るようになり、今でもその言葉は心に根付き私の原動力となっています。心が折れずに仕事を続けることができたのも、相談援助で関わらせていただいた方々の笑顔や言葉は勿論のこと、上司や同僚に恵まれていたおかげであると感じております。
現在の勤務先である病院では、早い段階で実践に関わらせていただき、そこでも私の言動、口調、間の取り方、接し方、仕草のひとつひとつがこれまで経験してきたことがイメージされながら発信されているということを目の当たりにしていて感動をしています。
介護現場から医療現場に求めること、医療現場から介護現場に求めること、お互い不透明に感じていることがあると思います。双方の潤滑油として、異業種を渡り歩いてきた私だからこそできる支援があると信じて、今は目の前にある権利擁護の課題に向き合っていきたいと思います。

※次は『茨城県地域生活定着支援センター　加藤めぐみさん』へバトンタッチします。

SW カフェの会場について
会場の候補を探しています。皆さんの街に、気軽に集まれる喫茶店やカフェはありませんか？御存知の方は、是非お知らせください！お待ちしています。
連絡先⇒県西ブロック長　岩田（m.iwata@city.yuki.lg.jp）

鹿行ブロック活動について



研修会 「解決志向アプローチ」 を開催しました

平成２７年１１月１７日（土）と１２月５日（土）に、いこいの村涸沼で、臨床心理士の岡野典子先生をお呼びし、解決志向アプローチ研修を行いました。第１回目では解決アプローチ入門ということで基礎を学びました。第２回目は事例を通して解決志向アプローチを学び、５人のグループに別れ演習を行いました。グループの方たちが、それぞれの立場で解決志向アプローチを使って、がんばっている話を聴くことが出来ました。

先生が対応した実際の事例で、具体的な質問の仕方を説明してくださったので、とてもわかりやすかったです。特にミラクルクエスチョンは説明を聞いただけではわかりにくかったのですが、事例を通して実際のやり取りを聞くことが出来たので、勉強になりました。

平成２７年度鹿行ブロック総会及び勉強会を開催します

公私共にお忙しいと存じますが、ご出席くださいますようお願いいたします。

日 時　平成２８年3月２６日(土)　１３：００～１６：００

場 所　鹿嶋市まちづくり市民センター

住所：鹿嶋市宮中 4631 番地 1

電話番号：0299-83-1551

内 容　総 会 （１３：００～）　平成２８年度の鹿行ブロック役員体制について

勉強会（１３：３０～）　遺産相続手続きの基本的知識、事例研究

講師　法テラス茨城　常勤弁護士　遠藤　彰子　先生

鹿行ブロックはこれまで神栖市から平成２４年度～２５年度は鹿嶋市が役員を担当し、
その後平成２６年度～２７年度は鉾田市が担当してまいりました。
平成２６年度から無事２年の任期を迎えることが出来たのも、鹿行ブロック会員の皆様のご協力があったからのことです。改めて御礼を申し上げます。
ありがとうございました。

鹿行ブロック長　澤井　喜久江

北の国から
～県北ブロック通信～

○ラインメンバー募集中
前回の本音トークでメンバーが増えまして現在 14 名となりました。
みなさん参加をおまちしています。

食事をしながら本音トークを開催しました。

Ｈ２７１１月２０日　一想園にて

Ｈ２８年１月２９日　坂東太郎太田店にて

もうすぐ春ですね。今回は桜の囲み枠を使ってみました。県北ブロック会員の皆さまいかがお過ごしでしょうか。県北ブロックの活動として「食事をしながら本音トーク」を隔月で開催しています。既に２回開催しましてお忙しい中多数の会員のみなさんの参加がありお話に花が咲きました。

毎回２名の会員さんにお願いしまして、職場での取り組みや・・・いろいろなことを本音で喋っていただくという企画ですが、今はみなさんの自己紹介タイムに多くの時間をとっています。

第１号で本音トークをさせていただいたのが坂東太郎で私、山里でしたので、今回、通信の多くのスペースを使わせていただいています。

本音トークが近づいてきて何を話そうと考えましたが、なかなか思いつかなかったので自分の成長と並行して障がいのある方との出会い等を交えながら、小学校から大学の時のサークル活動までを話させていただきました。書き始めると原稿用紙５枚くらいになったのですが、時間が限られていたので、続くとい形で終わりにさせてもらいました。自分の事をゆっくり振り返ることもなかったので楽しく準備し話すことができました（みなさんが聞きたかったかは別ですが〈笑〉）。

次回は３月１８日（金）にみなみひまわり学園（日立）で行いますのでみなさんの参加をお待ちしています。

山里　和矢

今回気付いたこと食事の写真を撮れば良かった。本音トークをした方に一言もらって通信に載せよう。

【編集後記】

街に出ると色とりどりの花が咲き、柔らかな春らしい陽気を感じられるようになってきましたね。皆さまいかがお過ごしでしょうか？新入職員の受け入れ準備や医療・介護総合確保推進法施行への対応など新年度に向けての準備に忙しくされている方も多いのではないかと思います。

当会では来年度も、4 月 10 日開講の基礎研修Ⅱ・Ⅲを皮切りに、4 月 23 日～24 日開催の福祉関係者のための成年後見制度活用講座など、順次研修会や懇親会を予定しております。多くの仲間とつながりを持てると、何かと相談できたり共有できたりと心強いですよ。ぜひ皆さま会活動に積極的にご参加頂き、まずはお互いの顔を知り、ネットワークを広げていきませんか？

広報事業部